

高齢者福祉サービス版自己評価シート③

【内容評価基準】

【自己評価の実施にあたって】

- 第三者評価基準「評価の着眼点」や「評価基準の考え方と評価の留意点」を参考に自己評価をしてください。
- 評価結果は、「自己評価結果欄」のドロップダウンから選択してください(「a・b・c」)。
- また、その判断した理由・特記事項等を「判断した理由・特記事項等欄」にご記入ください。
- 「評価の着眼点」についても「□欄」のドロップダウンから選択してください(「□・☑」)。

A-1 生活支援の基本と権利擁護

A-1-(1) 生活支援の基本		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
A①	① 利用者一人ひとりに応じた一日の過ごし方ができるよう工夫している。	a	☑	ア	利用者の心身の状況と暮らしの意向等を把握・理解し、利用者一人ひとりに応じた生活となるよう支援している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	日々の支援において利用者の自立に配慮して援助を行うとともに、自立や活動参加への動機づけを行っている。
	集団レクリエーションに全員が参加する形ではなく、複数の趣味活動などを準備し利用者の興味や関心事を抽出し反映させている。		☑	ウ	利用者の希望等を把握し、日中活動に反映するとともに、複数の活動メニューと社会参加に配慮したプログラムが実施されている。
			☑	エ	利用者一人ひとりの生活と心身の状況に配慮し、日中活動に参加できるよう工夫している。
			☑	オ	利用者が日常生活の中で、役割が持てるように工夫している。
			☑	カ	利用者一人ひとりに応じた生活となっているかを検討し、改善する取組が組織的に継続して行われている。
			☐	キ	(特養)利用者の心身の状況に合わせ、快適な生活のリズムが整えられるよう支援している。
			☐	ク	(特養)利用者の生活の楽しみについて配慮と工夫を行っている。
A②	② 利用者一人ひとりに応じたコミュニケーションを行っている。	a	☑	ア	利用者の思いや希望を十分に把握できるよう、日々の支援場面などさまざまな機会、方法によりコミュニケーションを行っている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	利用者の思いや希望を把握し、その内容を支援に活かしている。
	利用者の尊厳を尊重し、介護支援専門員からの基本情報や事業所のアセスメントによりコミュニケーション能力を確認し筆談やひらがな表なども活用している。また、利用者の声を拾い上げるために「気づき・申し送りノート」を活用し、利用者が孤独感を感じないように話題提供をしたり、話をする機会を作っている。		☑	ウ	利用者の尊厳に配慮した接し方や言葉づかいが徹底されている。
			☑	エ	コミュニケーションの方法や支援について、検討・見直しが定期的に行われている。
			☑	オ	話すことや意思表示が困難であるなど配慮が必要な利用者には、個別の方法でコミュニケーションを行っている。
			☑	カ	(特養、通所介護、養護、軽費)利用者が話したいことを話せる機会をつくらせている。
			☑	キ	(特養、通所介護、養護、軽費)会話の不足している利用者には特に気を配り、日常生活の各場面でも話をしてもらえるようにしている。
A-1-(2) 権利擁護		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
A③	① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	a	☑	ア	権利侵害の防止等のために具体的な内容・事例を収集・提示して利用者に周知している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。
	権利擁護や身体拘束については援助会議の中で職員研修会を年に1回以上行い、法人内研修会も年に1回行い職員への周知徹底を図っている。また、利用者や家族へは契約書にも記載し、事業所内のポスター掲示や介護者教室を開催することで周知を図っている。		☑	ウ	原則禁止される身体拘束を緊急やむを得ない場合に一時的に実施する際の具体的な手続と実施方法を明確に定め、職員に徹底している。
			☑	エ	所管行政への虐待の届出・報告についての手順等を明確にしている。
			☑	オ	権利侵害の防止等について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。
			☑	カ	権利侵害が発生した場合に再発防止策等を検討し理解・実践する仕組みが明確化されている。

高齢者福祉サービス版自己評価シート③

【内容評価基準】

A-2 環境の整備

A-2- (1) 利用者の快適性への配慮		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
A④	① 福祉施設・事業所の環境について、利用者の快適性に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 福祉施設の環境は清潔で、適温と明るい雰囲気が保たれている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 利用者にとって快適で、くつろいで過ごせる環境づくりの工夫を行っている。
	法人内朝礼(毎日)や職長会(毎月)で職員へ「整理整頓、清潔、清掃」の意識づけを行っている。事業所内は利用後に細かく清掃(営業日は毎日)をしている。設えについては畳、椅子など希望に合わせて利用できるスペースを確保しており、利用者と一緒に明るい空間作りを考え、季節によって壁などの飾りつけを替えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 環境について、利用者の意向等を把握する取組と改善の工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ (特養、養護、軽費)利用者の意向やこれまでの生活を尊重した過ごし方ができるよう、居室の環境等に配慮し支援している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ (通所介護)休息に適した環境づくりを行っている。

A-3 生活支援

A-3 (1) 利用者の状況に応じた支援		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
A⑤	① 入浴支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 利用者の心身の状況や意向を踏まえ、入浴形態や方法を検討・確認し、入浴支援(入浴介助、清拭、見守り、声かけ等)を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 安全・快適に入浴するための取組を行っている。
	源泉かけ流し温泉を利用し、入浴マニュアルに基づき利用者の体調に合わせた入浴形態や入浴方法を行っている。脱衣場・浴室ともに衛生的に管理しリフト浴の設備もあり利用者が安全に入浴できる環境が整備してある。入浴を嫌がられる利用者については職員の入浴担当を午前・午後で割り当て、いつでも入浴できる環境を作っている。 利用者の入浴時に得た情報(皮膚の状態、ADL面など)は必要に応じて家族や介護支援専門員などの協力機関に連絡している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 入浴の誘導や介助を行う際は、利用者の尊厳や感情(羞恥心)に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 入浴を拒否する利用者については、利用者の状況に合わせ対応を工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 入浴方法等について利用者の心身の状況に合わせ、検討と見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 入浴の可否の判断基準を明確にし、入浴前に健康チェックを行い、必要に応じて清拭等に代えるなどの対応をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ (特養、通所介護、養護、軽費)心身の状況や感染症、意向等を踏まえて入浴順の配慮を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク (特養、通所介護)利用者が自力で入浴できる場合でも、安全のための見守りを行っている。
			<input type="checkbox"/>	ケ (養護、軽費)利用者の安全及び健康管理のため、利用者の入浴状況を把握している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	コ (特養、通所介護、養護、軽費)利用者の心身の状況や意向に合わせた入浴形態・方法を実施するための浴槽、福祉用具等が用意されている。
			<input type="checkbox"/>	サ (特養、養護、軽費)利用者の健康状態等、必要に応じて、入浴日以外の日でも、入浴あるいはシャワー浴等ができる。
			<input type="checkbox"/>	シ (特養、養護、軽費)利用者の意向に応じて、入浴日を変更したり、入浴日以外の日でも、入浴あるいはシャワー浴等ができる。
		<input checked="" type="checkbox"/>	ス (通所介護、訪問介護)家庭での入浴について利用者・家族に助言・情報提供し、必要に応じて、介護支援専門員等に報告・連絡している。	
A⑥	② 排せつの支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 利用者の心身の状況や意向を踏まえ、排せつのための支援、配慮や工夫がなされている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 自然な排せつを促すための取組や配慮を行っている。
	マニュアルに基づき利用者個々の状況に合わせて行っており状況をケース記録に残している。トイレは清潔にし手すりやバーの設置もあり安全面に配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ トイレは、安全で快適に使用できるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 排せつの介助を行う際には、利用者の尊厳や感情(羞恥心)に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 排せつの介助を行う際には、介助を安全に実施するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 排せつの自立のための働きかけをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 必要に応じ、尿や便を観察し、健康状態の確認を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 支援方法等について利用者の心身の状況に合わせて検討と見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ケ (特養、通所介護)尿意・便意の訴えやおむつ交換の要望に対して、できる限り早く対応できるようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	コ (通所介護、訪問介護)家庭での排せつについて利用者・家族に助言・情報提供し、必要に応じて、介護支援専門員等に報告・連絡している。

高齢者福祉サービス版自己評価シート③

【内容評価基準】

A⑦	③ 移動支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	利用者の心身の状況、意向を踏まえ、できるだけ自力で移動できるよう支援を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	移動の自立に向けた働きかけをしている。
	動線の確保や歩行中の見守りなど安全に注意しながらADL訓練など可能な限り自立を促しながら移動支援を行っている。自宅でも継続した訓練を行うことが出来るように簡単な運動の提供を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	利用者の心身の状況に適した福祉機器や福祉用具が利用されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	安全に移動の介助を実施するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	介助方法等について利用者の心身の状況に合わせて検討と見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	(特養、通所介護、養護、軽費)利用者が移動しやすい環境を整えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	(特養、通所介護、養護、軽費)移動に介助が必要な利用者が移動を希望した際に、できる限り早く対応できるようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	(通所介護)送迎サービスは、利用者の希望、心身の負担や乗降時・移動中の安全に配慮し実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ケ	(通所介護、訪問介護)家庭での移動について、動線の安全の工夫や福祉用具等の利用を含めた助言・情報提供を行い、必要に応じて、介護支援専門員等に報告・連絡している。
A-3 (2)	食生活	自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
A⑧	① 食事をおいしく食べられるよう工夫している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	食事をおいしく、楽しく食べられるよう献立や提供方法を工夫している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	(特養、通所介護、養護、軽費)食事の環境と雰囲気づくりに配慮している。
	1回のメニュー、カロリーについて説明をしている。厨房から1週間の献立を提供してもらい、ボードに書いて毎回利用者へ説明している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	(特養、通所介護、養護、軽費)衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。
			<input type="checkbox"/>	エ	(特養、養護、軽費)食事を選択できるよう工夫している。
			<input type="checkbox"/>	オ	(訪問介護)訪問介護員に対して調理に関する研修を行っている。
			<input type="checkbox"/>	カ	(訪問介護)利用者の意向を確認し、調理している。
			<input type="checkbox"/>	キ	(訪問介護、軽費)調理器具・台所等の衛生に留意し対応している。
A⑨	② 食事の提供、支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	利用者の心身の状況、嚥下能力や栄養面に配慮した食事づくりと提供方法を工夫している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	利用者の食事のペースと心身の負担に配慮している。
	個別にアセスメントをし、厨房と連携し嗜好調査(個別聞き取り)をしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	利用者の心身の状況を適切に把握し、自分でできることは自分で行えるよう支援している。
	好き嫌い・アレルギー・疾患による食事制限などがある利用者などは特別メニューを提供するなど個々が美味しく食べることが出来る工夫をしている。個人ケース記録に残し、家族からの要望がある場合などは連絡帳を活用し(水分量、食事摂取量など)情報共有している。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	経口での食事摂取を継続するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	誤嚥、窒息など食事時の事故発生の対応方法を確立し、日頃から確認、徹底している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	食事提供、支援・介助方法等について利用者の心身の状況に合わせ、検討と見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	(特養、通所介護、訪問介護)食事、水分の摂取量を把握し、食事への配慮、水分補給を行っている。
			<input type="checkbox"/>	ク	(特養)利用者一人ひとりの栄養状態を把握し、栄養ケア計画を作成し、それに基づく栄養ケアマネジメントを実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ケ	(訪問介護、通所介護)家庭での食事や水分摂取について、利用者・家族に助言・情報提供を行い、必要に応じて、介護支援専門員等に報告・連絡している。
			<input type="checkbox"/>	コ	(訪問介護)サービス提供時のみならず、利用者の食事全体の聴き取りや確認をしている。
A⑩	③ 利用者の状況に応じた口腔ケアを行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	利用者が口腔機能の保持・改善に主体的に取り組むための支援を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	職員に対して、口腔ケアに関する研修を実施している。
	毎回食事前に嚥下体操を行ったり、職員に対しては老人福祉協議会の研修などの研修成果の振り返りを行う意味で事業所内勉強会などを行って知識の習得に努めている。個別に義歯洗浄や歯磨きの介助を行っている。異常がある場合には家族や介護支援専門員へ情報提供をしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	(特養、通所介護、養護、軽費)歯科医師、歯科衛生士の助言・指導を受けて、口腔状態及び咀嚼嚥下機能の定期的なチェックを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	(特養、通所介護)利用者の口腔清掃の自立の程度を把握し、一人ひとりに応じた口腔ケアの計画を作成し、実施と評価・見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	(特養、通所介護)口腔機能を保持・改善するための取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	カ	(特養)食後や就寝前に、利用者の状況に応じた口腔ケア及び口腔内のチェックが実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	(通所介護)食後に、利用者の状況に応じた口腔ケア及び口腔内のチェックを行っている。
			<input type="checkbox"/>	ク	(訪問介護、養護、軽費)食後または就寝前に、利用者の状況に応じた口腔ケア及び口腔内のチェックを行っている。
			<input type="checkbox"/>	ケ	(訪問介護、養護、軽費)口腔内に異常が認められた場合、歯科の受診を促している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	コ	(通所介護、訪問介護)家庭での口腔ケアについて、利用者・家族に助言・情報提供を行い、必要に応じて、介護支援専門員等に報告・連絡している。

高齢者福祉サービス版自己評価シート③

【内容評価基準】

A-3-(3) 褥瘡発生予防・ケア		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
A⑪	① 褥瘡の発生予防・ケアを行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	褥瘡対策のための指針を整備し、褥瘡の予防についての標準的な実施方法を確立し取組んでいる。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	標準的な実施方法について職員に周知徹底するための方策を講じている。
入浴・排泄時などに発赤や褥瘡が確認できた場合は家族や介護支援専門員へ情報提供している。また、職員の知識や意識向上のために研修などで得た知識を研修報告会などで職員同士共有できる機会を作り質の向上に努めている。			<input checked="" type="checkbox"/>	褥瘡予防対策の関係職員が連携して取組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	褥瘡発生後の治癒に向けたケアが行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	褥瘡ケアの最新の情報を収集し、日常のケアに取り入れている。
			<input type="checkbox"/>	(特養)褥瘡を食事面から予防するために、利用者一人ひとりの食事の摂取状況の確認、栄養管理を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	(通所介護、訪問介護)家庭での褥瘡予防について、利用者・家族に助言・情報提供を行い、必要に応じて、介護支援専門員等に報告・連絡している。
A-3-(4) 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
A⑫	① 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養を実施するための体制を確立し、取組を行っている。	a	<input type="checkbox"/>	介護職員等による喀痰吸引・経管栄養の実施についての考え方(方針)と管理者の責任が明確であり、実施手順や個別の計画が策定されている。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	喀痰吸引・経管栄養は、医師の指示にもとづく適切かつ安全な方法により行っている。
喀痰吸引、経管栄養を実施するためのマニュアルが整備されている。			<input type="checkbox"/>	医師や看護師の指導・助言のもと安全管理体制が構築されている。
			<input type="checkbox"/>	介護職員等の喀痰吸引・経管栄養に関する職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。
			<input type="checkbox"/>	介護職員等の喀痰吸引・経管栄養の研修の機会を確保し、実施体制の充実・強化をはかっている。
A-3-(5) 機能訓練、介護予防		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
A⑬	① 利用者の心身の状況に合わせ機能訓練や介護予防活動を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	利用者が生活の維持や介護予防に主体的に取組むための支援を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	利用者の状況に応じて、機能訓練や介護予防活動について、専門職の助言・指導を受けている。
個別にアセスメントをし個々に目標設定をして意図的な機能訓練を行った。運動のメニューについても個々に設定し、利用中に機能訓練に限られるのではなく自宅でも継続できるような指導も行った。			<input checked="" type="checkbox"/>	(特養、通所介護、訪問介護)日々の生活動作の中で、意図的な機能訓練や介護予防活動を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	(特養、通所介護、養護、軽費)一人ひとりに応じた機能訓練や介護予防活動を計画的に行い、評価・見直しをしている。
			<input type="checkbox"/>	(特養、養護、軽費)判断能力の低下や認知症の症状の変化を早期発見し、医師・医療機関との連携など必要な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	(通所介護、訪問介護)認知症の症状の早期発見に努め、介護支援専門員を通して医療機関等につないでいる。
			<input type="checkbox"/>	(訪問介護)自宅や地域での介護予防活動やメニューについて助言・情報提供を行い、必要に応じて、介護支援専門員等に報告・連絡している。
A-3-(6) 認知症ケア		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
A⑭	① 認知症の状態に配慮したケアを行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	利用者一人ひとりの日常生活能力や機能、生活歴について適切にアセスメントを行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	あらゆる場面で、職員等は利用者に配慮して、支持的、受容的な関わり・態度を重視した援助を行っている。
基本情報、アセスメントに沿って、既往歴から何らかの認知症の症状を有する利用者へアプローチするにあたり、利用者の個人ケース記録を作成し、職員間で情報共有をしている。また、家族・介護支援専門員など各協力機関へも必要に応じて情報提供をしている。認知症に関する老人福祉協議会の研修や勉強会を通じて、事業所内でも勉強会を定期的に企画し質の向上に取り組んでいる。			<input checked="" type="checkbox"/>	行動・心理症状(BPSD)がある利用者には、一定期間の観察と記録を行い、症状の改善に向けたケアや生活上の配慮を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	職員に対して、認知症の医療・ケア等について最新の知識・情報を得られるよう研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	(特養・通所介護、養護、軽費)認知症の利用者が安心して落ち着ける環境づくりの工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	(特養、通所介護、養護、軽費)利用者一人ひとりの症状に合わせて、個人あるいはグループで継続的に活動できるよう工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	(特養、通所介護、養護、軽費)医師及び看護師等の関係職員との連携のもと、行動・心理症状(BPSD)について分析を行い、支援内容を検討している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	(通所介護・訪問介護)サービス利用時の様子を家族に伝えるなどして、よりよいケアの方法を家族と共有するようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	(通所介護・訪問介護)家族の悩みや相談を受けとめ、よりよいケアの方法を家族と共有するようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	(通所介護、訪問介護)認知症の理解やケアに関して、利用者・家族に助言したり、家族会などの社会資源について情報提供を行っている。また、助言した内容については、必要に応じて、介護支援専門員等に報告・連絡している。

高齢者福祉サービス版自己評価シート③

【内容評価基準】

A-3-(7) 急変時の対応		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
A⑮	① 利用者の体調変化時に、迅速に対応するための手順を確立し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 利用者の体調変化に気づいた場合の対応手順、医師・医療機関との連携体制を確立し、取組んでいる。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 日々の利用者の健康確認と健康状態の記録を行っている。
	送迎時に家族から得た情報などを職員間で連携し、利用中のバイタル測定を適時行い、体調変化に迅速に対応している。症状によって家族や協力機関との情報共有の為、連絡帳を活用している。緊急時マニュアルを作成し対応している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 利用者の体調変化や異変の兆候に早く気づくための工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員に対して、高齢者の健康管理や病気、薬の効果や副作用等に関する研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 体調変化時の対応について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ (特養、通所介護、養護、軽費)利用者の状況に応じて、職員が適切に服薬管理または服薬確認をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ (通所介護)その日の体調について、迎え時に家族から情報を得て、さらに利用開始時・終了時には必ず健康チェックを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク (通所介護)異変があった場合には、家族、医師、介護支援専門員等に連絡する体制を確立している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ケ (訪問介護)訪問時に健康チェックを行い、異変があった場合には、家族、医師、訪問看護事業所、介護支援専門員等に連絡する体制を確立している。

A-4 家族等との連携

A-4-(1) 家族等との連携		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
A⑯	① 利用者の家族等との連携と支援を適切に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 家族に対し、定期的及び変化があった時に利用者の状況を報告している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 利用者の状況など報告すべき事項は、必ず家族に伝わるよう伝達方法を工夫している。
	日中の情報を連絡帳を活用し提供したり、緊急連絡網を活用し適宜連絡をしている。気づき・申し送りノートを作成し、職員間でも情報の共有をしている。同じく個人ケース記録にも必要な情報などは記入し、いつでも家族からの申し出があれば提供できるようにしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 家族に対し、サービスの説明をしたり、要望を聞く機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 家族との相談を定期的及び必要時に行っている。また、その内容を記録している。
			<input type="checkbox"/>	オ (特養、養護、軽費)利用者や家族とつながりをもてるよう、取組や工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ (通所介護・訪問介護)家族が必要とする情報提供を行い、必要に応じて、介護支援専門員など専門職、関係機関につないでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ (通所介護・訪問介護)家族(介護者)に対し、必要に応じ介護に関する助言や介護研修を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	ク (通所介護・訪問介護)家族(主たる介護者)の心身の状況や家族による介護・介助方法にも気を配り、必要に応じて介護支援専門員に報告している。	